



誠・力・光

令和5年1月16日

練馬区立北町中学校

学校だより 1月号

新しい年にジャンプ

校長 中嶋 雅彦

大ホールに入り、席に着くと会場の半分ほどが新成人で賑わっていました。その後、数分で予約した席は満員となり、「練馬区成人の日の集い」が開会されました。1月9日（月）成人の日に、日本大学芸術学部江古田キャンパス大ホールにおいてこの式典および演奏会が行われました。私は、練馬区立中学校長会の役割分担の関係からこの会の案内状をいただき、参加しました。中学校を卒業して5年が経ち、若さのなかにも20歳としての責任を感じている姿をすぐ近くで見ることができました。お祝いの衣に身を包み、久しぶりに合った友とともに、笑顔で望む姿は、これからの社会に新しい力が加わった瞬間であることを感じました。式典は、日本大学芸術学部放送学科教授の森中慎也さんが司会を務め粛々と進められたのち、ヴァイオリニストの大谷康子さんとピアニストの小山さゆりさんによる演奏会で結びとなりました。

目まぐるしく変化する社会において、自分を見失わず、答えのない世界的な規模の課題に立ち向かっていく力をまさにこれから生き抜く中学生たちにどのように学ばせなければならないのか。本校の教育活動をどのように充実させなければ行けないのかを考えさせられる新しい年の幕開けとなりました。

翌日、本校の始業式では、全校生徒が体育館に集まり、新年を迎えた喜びとともに、3学期の充実を願う緊張感のある子どもたちを見ることができました。3学期は、それぞれの学年のまとめであるとともに、新たなステージに進むための準備の時期でもあります。子どもたちがさまざまな変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことやその中で目的を再構築することができる力を育成するために、授業改善や体験学習の充実を繰り返し行います。私の式辞が北町中生の長い生涯にわたり学びを大切に、真の学びの大切さと楽しさを考える一役を担うことができればと願い、真剣に聞く一人一人の生徒を見ながらその思いを話しました。

2日後、職員室の朝会の前に、1学年校外学習担当の教員が「川越校外学習2022」という題の付いた冊子をもってきました。2学期に事前に準備した校外学習への取り組みも今月実施となります。実行委員が作った「公共のルールを守って行動し、歴史を肌で感じよう」というスローガンのもと、生徒同士の力を集めどのよう輝きを発してくれるのか1学年の教員とともに生徒を支援していきます。連続する学びの機会を大切に、今年も地域や保護者の皆様の協力を得て、北町中をより高くジャンプさせていく決意です。